



ダイドードリンコ株式会社 太田オフィス

カーボンニュートラル実現へ 自販機プロジェクト始動 CO2排出量実質ゼロに



太田市

住所 太田市大原町2068-3
(本社:大阪府大阪市北区中之島2-2-7)
TEL 0277-78-1412
URL <https://www.dydo.co.jp/>
代表者 中島 孝徳
設立 2016年2月1日
資本金 350百万円
従業員 780人(全社)

WEBサイト



企業紹介

自動販売機による国内飲料拡販事業
～配置業から自販機ビジネスへ～

私たちが創業以来一貫して行ってきたのは、お客様にとって身近な場所に自動販売機を置き、お客様が必要なときに、必要とするものをいつでも購入していただける仕組みです。この「お客様の一番近い場所」で「お客様の求めるものを販売する」というビジネスモデルが、私たちの強みであり、社会で果たすべき役割です。



経緯・背景

私たちは、グループ理念「人と、社会と、ともに喜び、共に栄える」という共存共栄の精神を謳っています。この理念はSDGsの原則である【誰一人取り残さない】にも通じているのが、当社がSDGsに取り組む根幹になります。環境・社会・経済の3つの柱から、SDGs目標達成に向け活動を推進することで、世界中の人々が楽しく健康やかに暮らせる持続可能な社会の実現を目指しています。

支援型自販機を設置 子ども食堂の活動支援 ルート最適化で負荷軽減も

具体的な取組・成果

【循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた取組】

- 環境配慮に向けた重点目標の策定
 - ①容器での環境負荷の低減への取組
空き容器回収率2030年までに100%達成
(2021年度:自主回収率は93.0%)
 - ②リサイクルペットボトル「ボトルtoボトル」の推進
プラスチック容器のサステナブル化2030年までに60%以上を実現
 - ③自販機の再生・長寿命化への取組
自販機の長寿命化2030年までに平均寿命15年
(2021年度:平均寿命は11.8年)
- 脱炭素社会に向けた取組
「みんなのLOVE the EARTH」プロジェクト
自動販売機のカーボンニュートラル実現を考えた新プロジェクト。



「LOVE the EARTH ベンダー」イメージ

- ①自動販売機の年間消費電力量に相当する「非化石証書〔注釈1〕」を当社で購入し、稼働時のCO2排出量を実質ゼロに。
 - ②自動販売機設置による地域への植林でCO2吸収源を拡げる活動。
 - ③お客様のニーズに応え、アルミ缶ボトル「LOVE the EARTH缶」を設定。
※注釈1:非化石証書とは
非化石電源(風力・水力等の再生可能エネルギー)で発電された電気の環境価値を証書にし、売買可能にしたもの。
- 「スマートオペレーション」による環境負荷軽減
ルートの最適化によるガソリン使用量の抑制
自動販売機の売上データをAIに学習させ、最適

な販売本数に設定するスマートオペレーション体制を導入。AIデータを活用したルートの最適化により、ルートカーの年間使用燃料を29.0%削減。
(2021年度:2016年比)

- SDGs浸透活動
ワークショップ開催「みんなで学ぼうSDGs」から「働こうSDGsの目指す未来へ」
社内外で、SDGsファシリテーターによるワークショップを開催。学校や行政で導入実績のあるSDGsゲームを活用し、SDGs達成に向けてどのような選択をするのかを考える機会を設ける。
- ダイバーシティ推進
生産性の向上とワークライフシナジーの実現
女性従業員の活躍促進・高齢者の活躍支援・障がい者の雇用促進・時短、フレックス勤務
- 社会貢献活動
飲料購入の際の収益の一部を支援先に寄付することができる自動販売機を推進。
(支援先:日本赤十字社・国境なき医師団)
日本財団・緑の募金
自動販売機を通じて《こども食堂ネットワークぐんま》への支援活動を開始しました。直近では、館林に自動販売機を設置いたしました。

当社にとってのSDGsビジョン

私たちは2030年のありたい姿として、グループミッション2030「世界中の人々の楽しく健康やかな暮らしを創造するDyDoグループへ」を定めました。SDGsの目指す未来の実現に向けて、貢献することが私たちのミッションです。世界中の人々が楽しく健康やかに暮らせる持続可能な社会を目指していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

持続可能な社会の実現は、一企業だけでなく、産官学公民の連携が達成への近道だと考え、実践していくことで体現されるものだと感じております。
傾聴だけでなく、自分にできることは何かを考え一緒に実践していただけるステークホルダーを求めています。【1人の100歩ではなく、100人の1歩】が大切になります。